

## 点眼の順序

緑内障・懸濁性・油性以外 名前	PH	緑内障 粘性	懸濁性 保存	油性 備考	特殊
アレギサル	7.5 ~ 8.5		室温		
プロラン	7.5 ~ 8.5		室温 遮光		
リンデロン液	7.5 ~ 8.5		室温 遮光		
ソフトサンティア	7.0 ~ 8.0		冷 遮光	*人工涙液	目の表面を潤すために使用。 他点眼剤でもうるおうので併用は不必要？
トラメラス	7.0 ~ 8.0		室温 遮光		
リザベン	7.0 ~ 8.0		室温 遮光		
マイティア	7.0 ~ 7.5	やや粘	室温	*人工涙液	PH 涙 PH 7.4
サルベリン	6.7 ~		冷		
クラビット	6.2 ~ 6.8		室温 遮光		
タチオン	6.2 ~ 6.3		冷		保存
エコリシン	6.0 ~ 8.0		室温		用事溶解するものは、溶解後の保存方法を記載。
ベストロン	6.0 ~ 8.0		冷		
ジクロード	6.0 ~ 7.5		冷 遮光		粘性
タリビット	6.0 ~ 7.0		室温		粘性がある点眼剤を点眼後、併用薬を続けて
ヒアレイン 0.1	6.0 ~ 7.0	粘	室温	*角膜保護	点眼しても吸収に問題はないのか？
ゲンタシン	5.5 ~ 7.5		室温		
カタリン	5.5 ~ 6.5		冷 遮光		
サンコバ	5.5 ~ 6.5		室温 遮光		
ミオピン	5.5 ~ 6.5		室温		
プリピナ	5.3 ~ 6.3		室温		
リンデロンA	5.0 ~ 7.5		冷 遮光		
イセチオン	5.0 ~ 7.0		冷 遮光	PHデータなし。(タチオンを参考に表示)	
日点FA	5.0 ~ 7.0	やや粘	室温		
コンドロン	5.0 ~ 6.5	やや粘	室温	*角膜保護	水分を結膜嚢内にながく保ち、目の乾燥を防ぐ。 薬効成分を浸透させる点眼薬との順番は？
ナフロ	5.0 ~ 5.6		室温 遮光		
ザジテン	4.8 ~ 5.8		室温		
DMゾロン	4.7 ~ 5.7		遮光		
IDU	4.5 ~ 7.0		冷 遮光	ほう酸を含む点眼剤との併用注意。	
カタリンK	4.5 ~ 6.5		冷 遮光		
フラビタン	4.5 ~ 6.0		室温 遮光		
ムコゾーム	4.5 ~ 6.0		室温		
ムコファジン	4.5 ~ 6.0	やや粘	室温 遮光		
ミドリンM	4.5 ~ 5.8		室温		
ミドリンP	4.5 ~ 5.8		室温		
ロメフロム	4.5 ~ 5.7		室温		
インタール	4.0 ~ 7.0		室温		
クモロール	4.0 ~ 7.0		室温 遮光		
ネオシネジン	4.0 ~ 6.0		室温 遮光		
アトロピン(ミニムス)	4.0 ~ 5.0		室温	無菌デイスパーザブル	患者には渡さず、医療機関で使用。
ラクリミン	4.0 ~ 5.0		室温		
ベトブティック	6.7 ~ 7.7		室温	(ベトブティック、チモプトール、ハイバジール、ミケラン の最後から変更)	
チモプトール	6.5 ~ 7.5		室温 遮光		
ハイバジール	6.5 ~ 7.5		室温 遮光	インタール、コンドロン3%併用時は間隔を十分にあげる。	
リズモン	6.5 ~ 7.5		室温 遮光		
キサラタン	6.5 ~ 6.9		冷 遮光		
ミケラン	6.2 ~ 7.2		室温		
フォスフォリナイオグアイト	5.5 ~ 6.5		室温 遮光		
トルソプト	5.5 ~ 5.9	やや粘	室温		
レスキュラ	5.0 ~ 6.5		冷 遮光		
ピバレフリン	4.5 ~ 5.5		室温		
サンピロ	4.5 ~ 5.5		室温		
ピマリシン	6.5 ~ 7.5		室温	懸濁 (前リスト の分類から変更)	
リボスチン	6.0 ~ 8.0		室温 遮光	懸濁	
フルメトロン	5.5 ~ 7.5		室温	懸濁	
フルオメソロン	5.5 ~ 7.5		室温	懸濁	
カリーユニ	3.4 ~ 4.0		室温	懸濁	
インドメロール	~	粘	室温 遮光	油性 (ヒマシ油)	
リズモンTG	7.2 ~ 8.0	粘	冷 遮光	ゲル化(熱)	投与前に少なくとも10分の間隔をあける
チモプトールXE	6.5 ~ 7.5	やや粘	室温 遮光	ゲル化(Na)	投与前に少なくとも10分の間隔をあける